

創刊15周年 特別記念号

平成21年7月1日（水）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : 陸運事業本部ソリューション部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 中島 英男
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

第82号

【目次】

1. 小集団活動全社発表会開催される
2. 2008年度 MCLCエネルギー使用量実績
3. 新型インフルエンザ感染拡大防止対策について
4. 作業解析ソフトOTRSバージョンアップ
5. 衛星場所自慢 Part2 ~第14回 筑波支店~
6. LIFE TIMES 創刊15周年を迎えて
7. 第4回 RFIDソリューションEXPO



1. 小集団活動全社発表会開催される

去る6月19日に、当社九州支社に於いて、小集団活動全社大会が開催されました。昭和57年度よりスタートした本活動も今回で25回目を迎えました。全社約110グループの中から選ばれた7グループによって行われた発表は、どれも興味深いテーマでありました。

簡単に内容をご紹介させていただきますと、①九州支社:硫安用自動包装機の設備改善による包材装着不良対策、②中部支社:RPM倉庫の有効活用による保管量UP(効率化)、③四国支社:石炭貯炭用3号スタッカーの設備改善による積付作業時の蛇行対策、④川崎油槽所:棧橋設備の改善による保安・安全・QA対策、⑤鹿島支社:AF用製函機の設備改善によるダンボールシート搬送不良対策、⑥中国支社:PP用紙袋包装機の設備改善によるチョコ停削減、⑦九州支社:輸送方法の改善やパト



ロールによる路線便におけるトラブル削減活動、など設備や業務の改善、RCに関するものと多岐にわたるテーマがありました。そして今回も質疑応答を交えながら活発な議論が行われました。なお、最優秀グループは、11月に予定されている「MCHCグループ小集団活動発表会」に当社代表として出場します。

2. 2008年度 MCLCエネルギー使用実績

当社は特定貨物輸送事業者ではありませんが、特定荷主様への報告用や3PL事業者としての省エネ推進及び自社の省エネ活動推進の為に、輸送におけるエネルギー使用量を算出するシステムを構築し運用しております。

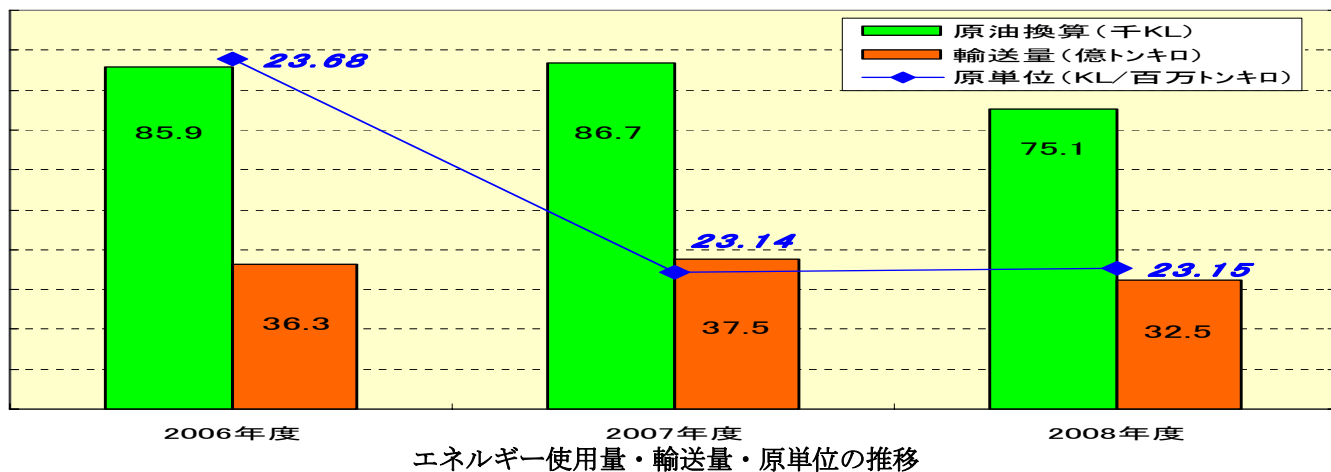
この度2008年度のエネルギー使用実績を公表致します。2008年度は以下の4項目をメインの活動として、省エネに取り組んでまいりました。

- ①輸送ロットアップによる、積載率の向上及び輸送トラックの大型化。
- ②子会社トラックへのデジタコ導入による燃費向上。
- ③フェリー、RORO船の活用。
- ④内航船燃費向上対策等

上記の結果として、個々の輸送手段毎には凸凹がありますが、概ね陸運・海運共に僅かながらマイナスとなりました。しかしながらトータルの原単位で観ると、2007年に対しては若干プラスとなりました。(2006年に対しては、年率▲1%を達成。) これは年度後半の輸送量の減少が影響し、特に海運の輸送量減(=低原単位の輸送減)によって全体の原単位を押し上げたものと考察しています。

この様に、個々の省エネ対策の効果だけでなく、輸送手段構成比によって原単位が変動する事も考慮しておく必要があります。

これからも更なる原単位の向上を図るべく、省エネ活動に取り組んでいきたいと思っております。



3. 新型インフルエンザ感染拡大防止対策について

日本国内で新型インフルエンザ感染者が確認された後、三菱化学グループにおいても感染予防のために入社前の検温や手洗い、マスク着用、不急の出張や会議等の自粛を行っていました。更に当社グループにおいては、周囲の人の咳やくしゃみによる飛まつ感染防止の観点から、状況に応じて納品時にドライバーもマスク着用を実施し、感染防止に取り組んでいます。市場ではマスク不足が発生しているために、必要な量のマスク準備には大変苦労しています。

今の時期、以前ほど新型インフルエンザに関するニュースを聞かなくなり、ピークが過ぎたように思われますが、福岡や千葉、北海道といった全国で感染者の報告があり感染場所は拡大しています。現在に至ってもはっきりとした感染経路が分かっていないため不安の多い状態が続きそうです。

しかし、過敏にならずに、まずは各人でできる手洗いやマスク着用といった事を継続して実施し、体調を崩さないよう健康管理をしっかり行うことを徹底されてはいかがでしょうか。

4. 作業解析ソフトOTRSバージョンアップ

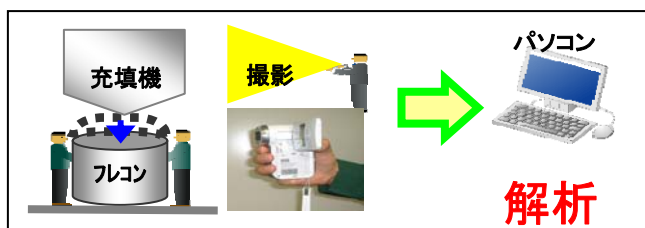
構内物流の解析・検討で活用しています「作業解析ソフト:OTRS (Operation Time Research Software)購入先:ジャシィ株式会社 生産工学研究所」が、この度バージョンアップされましたので、従来までの活用方法も含めてご紹介致します。

以前は撮影したビデオ映像をモニターで見ながら、再生・停止を繰り返し秒単位で一つ一つの作業を確認し、そこにムダな動きやロスがないか解析を行っていました。この方法では解析やデータ整理に莫大な時間を要していたため、解析時間短縮の業務効率化が求められていました。その解決及び、検討スキルアップを目的とし、導入したのがOTRSでした。

このソフトの特徴はビデオで撮影した映像をパソコン上で再生しながら、分析・解析を行うところです。パソコン画面上で再生している映像をマウスでクリックする事により、作業を自動的に分解し、更にムダ・ロスを排除する事も出来ます。解析したデータはPDFファイルで出力したのち、使い慣れたソフト(Excel等)に変換し、自由に編集する事も可能です。

OTRSには、ビデオ映像の動作分析・時間分析以外に、分析した結果(動作)を自由に編集したり、2つの映像(改善前と改善後など)を同時に再生する機能や静止画にコメントを入れてレポートとして出力し教育資料として活用する事も可能です。今回バージョンアップした事により、複数パソコンでのデータ共有化・作業工程表の作成など新たな機能が追加され、解析時間の短縮及び、今以上に詳細な検討が可能になりました。

バージョンアップしたOTRSを活用し、今後も提案内容の向上、よりわかりやすいプレゼンテーションの実施に努めてまいります。



解析イメージ

5. 衛星場所自慢 Part2 ~第14回 筑波支店~

鹿島支社筑波支店(茨城県牛久市東獺穴町)は、昭和39年6月に三菱モンサント化成(株)第3工場(現三菱化学筑波事業所・三菱樹脂筑波工場)が設立され、それに伴い当支社も進出しました。

当時、洞海産業(株)土浦出張所として社員8名にて発足し、原材料の調達から生産された製品の保管・出荷・輸送までの業務を請負い、現在は業務拡大を図り30名体制で業務を行っています。筑波支店のある牛久市は、茨城県南部に位置し近くはガマの油で有名な筑波山、そして日本で二番目に大きな湖の霞ヶ浦もあります。また、この地は鉄道・高速道も発達しており交通の利便性も高く、休日には沢山の人が訪れています。筑波支店周辺でご紹介させて頂くとすれば、明治31年に本場、フランス・ボルドー地方のワイン製造方法を取り入れようと建設されたシャトーカミヤです。シャトーとは葡萄の栽培から醸造・ビン詰めまで一貫生産する醸造場に許された称号であり、カミヤはシャトーの主である創設者の神谷伝兵衛をさしております。



シャトーカミヤ

明治33年には「牛久葡萄酒」の名前で発売され現在では「牛久ワイン」に受け継がれ、国際コンクールでは数々の賞を受賞し、シャトー内のレストランでは、洋食から和食まで、ワインを筆頭に地ビール・地酒も楽しめるようになっています。ちなみにシャトーカミヤは、昨年テレビで放送されたイケメン俳優がたくさん出演したドラマの中の学校風景を撮影した場所になっており、みなさんも一度はご覧になっているかもしれません。



土浦花火大会

また、毎年10月の第一土曜日に開催される土浦の「花火大会」が有名です。季節外れの花火?と思われるかも知れませんが、これは、翌年の花火の宣伝と花火職人の意地と面子をかけた花火の競技大会で、毎年80万人を超える人が土浦市に集ります。

一度、大迫力の花火を観てみませんか?その際は毛布をお忘れなく!

6. LIFE TIMES 創刊15周年を迎えて

◆荒井 喜良氏(：LIFEチーム創立者で、LIFE TIMES初期編集長、現 総合建設会社社長)



LIFE TIMES創刊15周年真におめでとうございます。感慨深く思います。LIFE 創生期を思い、よくぞここまで続けてくれたかと…。そもそものスタートは、当時の三菱化学社鹿島工場(現鹿島事業所)のPS版の工程解析でした。

時の工場長からご理解頂き、現在福山営業所におられる安藤さんとたった2人での始まり。暗中模索の中、生産性2倍向上「PAC」手法に出会いそれを我流に解釈しながら、人間工学、動作解析、工場レイアウト研究、作業測定…など。PS版では評価を頂いたものの、その後の数年の空白期間を思えば賛否両論というより、どちらかというかと反対され続けての荒波の中の幕開けでした。

入社以来の上司であった小迫さん(元物流部長)に、我慢強く見守っていただき花開き始めたのが、本プロジェクト第二期スタート時の1990年ごろだったと思います。白石君と出会い、当時の屈強の若手数名で各地を回り、「現場主義のコンサルタント」を旗印に飛び回っていたことを思い出します。いろいろと思い出は尽きませんが、「思い」はそのまま今に生きております。

三菱化学社を卒業して早9年。畑違いの総合建設業稼業は思いのほか大変。ただ、私ども一介の零細企業は今、ホテルを経営し(*1)、海外進出を果たし(*2)、100年に一度といわれる「世界経済不況」の真っ只中を邁進中であります。これも当時の経験が、業種は違えど間違いなく活かされているということでしょう。

最後になりますが、お世話になりました皆様方には厚く厚く感謝いたしますとともに、今後ますます物流部門が発展致しますようご祈念申し上げます。

*1: <http://www.ohfuhotel-kamata.com/> <http://www.yoshozanhotel.com/>

*2: <http://www.araikumi.co.jp/>

行動10原則・禁言禁句・改善11ヶ条

◆編集委員Sの思い出 荒井氏の口癖は、「信念を持って徹底的に!」「無いなら作れ、歴史を変えろ!」ということで、当初からもものすごくパワフルな方でした。他人を変えるにはまず自分から!とのことで、「LIFE会員証」なるものを作り、常時携帯させられました(右図)。

また、LIFE TIMES1号は荒井氏に、無理やり!?(笑)自腹で買わされたワープロで作成、2号以降は荒井氏が「良いパソコン用ソフトを見つけた!」とのことでこれまた自腹で買わされたパソコンでパワーポイントを使って作成しました。

行動10原則	禁言・禁句	改善11ヶ条
(1) まあまあまで2年かかる。あわてずしっかり進め	(1) 前にやっただけだった	(13) この業務は最近改善したばかりだ
(2) 一歩も前進できないより、80点でもとにかく進め	(2) 出来ることなら既にやっています	(14) 特種な部署だから..
(3) できない説明はいらない。やる方法を教	(3) 慣習だから変えられませんか	(15) 特種な業務だから..
(4) 言い訳は改善の敵	(4) 規定を変える手続きが面倒だ	(16) こんな仕事をしたらバカにされる
(5) 改善は無限。管理者が率先して考えれば汗を出せ	(5) 業界の常識からはみ出さずからだめだ	(17) 上司や他部門が協力しにくい
(6) 金を出さずに知恵を出せ。知恵がなければ汗を出せ	(6) 今やるのは時期尚早だ	(18) ここで自分が提案しなくなるかな?
(7) 今日が最低と思え	(7) この方法が最善だ	(19) 近いうちに仕事のやり方が変わる
(8) 「なぜ?」を5回繰り返せ。真因が見つかると現場から目を離すな	(8) 私の立場も考えて欲しい	(20) 近いうちに仕事のやり方が変わる
(9) 知恵が出たらすぐ行動しろ	(9) 人間関係がぎくしゃくする	(21) たいた効果に業がらぬのでは?
(10) 神話を潰せ。歴史を変えろ	(10) 本当に大丈夫?	(22) カネがかかりすぎる
	(11) 時間が無い。多忙だから出来ない	(23) 突進に時間がかりすぎる
	(12) 私は性格が保守的だから..	(24) 現有ストックが無駄になる
		(25) 対外的に問題がある
		(26) もうこれ以上ありません
		(1) 改善は誰にでも出来る
		(2) 改善は、直角・平行・同心が原則である
		(3) 改善は、整理・整頓・清掃が基本である
		(4) 改善は、1秒・1歩・1個が始まりである
		(5) 改善は、決めたことを徹底して守ることである
		(6) 改善は、現場を良くして現象ではなく原因を正すことである
		(7) 改善は、目的を明確にして、物事を出来るだけ単純化・細分化することである
		(8) 改善は、方法を選択し、すぐ出来ることから実行することである
		(9) 改善は、知恵を積み重ねることである
		(10) 改善は自分自身が変えることである
		(11) 改善は無限である

◆編集委員Yインタビュー後記 LIFE時代の財産は現場に入り込み、現場の方と一緒に検討を行った事だそうです。それにより現場の実態、考え方を知る事が出来、現在の会社運営にも非常に役立っているとの事です。現場を知らない社長が机上論でいくら指示を出しても実効性は伴わないし、社員の方々の賛同を得ることも出来なかつたろうと語っておられました。

現在は海外でもご活躍ですが、2008年5月12日に四川大地震が発生した時、荒井氏は商談で震源地に非常に近い四川省綿陽市に滞在されていたそうです。地震発生時は打ち合わせが終わり、車で移動中にとてつもない揺れに見舞われ、生きた心地がしなかったとの事でした。幸い広い道路を移動中で、建物の倒壊に巻き込まれるのを逃れる事が出来たそうです。現地の状況は、皆さんもニュースで御存知の通り大変なものでしたが、現地の方は過去に地震の経験が殆どないので、何が起きたか理解出来ず茫然としていたそうです。また情報を得るにも、電気は止まりテレビもインターネットも見られず、現況を把握するのに大変苦労されたそうです。その様な他人の事どころではないという状況の下で、中国の方は荒井氏が日本へ帰国するまでの間、全力でサポートしてくれたとの事でした。それにしても、「強運な方」ですね。

7. 第4回 RFIDソリューションEXPO

去る5月13～15日の3日間、東京ビッグサイトにて開催された「ITソリューションEXPO」では、「RFIDソリューションEXPO」「データストレージEXPO」の他、IT関連全9展示が同時開催されました。RFID関連で約120社、全出展社数は約1700社に上る、日本最大規模のIT専門展示会となり、会場の活気も相当なものでした。

その中で、今回はRFIDについてのご紹介をさせていただきます。

「RFID」とは、“電波による個体識別”の略称で、ID情報を埋め込んだタグから、電波などを用いた近距離（周波数帯によって数cm～数m）の無線通信によって情報をやりとりするもの、及びその技術全般を指します。最近ではJRの「Suica」等、一般にも広く普及しつつあります。基本的には、人やモノの出入りを迅速かつ正確にデータとして把握するといった方向で活用されておりますが、最近では入退場の管理、物流管理の他、作業現場における工程や機材の管理等にも応用され、活用の幅は益々拡大しているようです。今回の展示会では出展各社がRFID技術を応用して開発した様々な新システムを見ることが出来ましたが、それぞれの発想が興味深く、非常に面白い内容でした。そして、RFIDの“タグ”自体にも様々な種類のものがあり、その多種多様さにも驚かされました。中でも印象的だったのは「洋服に貼り付けて、洗濯もできるタグ」です。厚さは普通の生地とほとんど変わらないシールのようなタイプのタグで、これを活用（制服等に着け社員が着用）して入退場を管理することにより勤務者はタグ（ICカード等）を持たずに出入りできる、といった様にセキュリティ面でのRFID活用の中にも、便利さや幅が広がってきたようでした。

しかしながら、タグ自体の単価も決して安価とは言えない事に加え、現状ではICタグリーダー側の読み取り精度にも不安が残る為、大量に（特に消耗品として）導入するには用途の検討、コスト対メリットの比較が重要となります。

いずれにしても、今後RFIDの普及が更に拡大して行く事が予想され、様々な場面において益々便利で効率的な未来が訪れるのも、そう遠い話ではなさそうです。



展示会場の様子

芝のそよ風

ソリューション部 大江 彰史

◆皆さん定額給付金はもうお使いになりましたか？私は定額給付金で車にETCを取り付け、休日にアクアラインを往復するといった、国の政策に見事にはまった行動をしてしまいました。でも景気が悪いからといって家に閉じこもっているよりは、ドライブ等たまのレジャーで気分転換するのも気持ちがいいものですね。これを機に日本の景気回復に少しでも貢献できるよう適度！？にお金を使いたいと思います。

◆15周年特別記念号いかがでしたでしょうか？新旧入れ替わりの激しいこの時代に、15年も続けられた事はひとえに皆様のお陰です。有難うございます。今後も皆様に楽しく読んでいただけるよう、様々な物流活動についてご紹介して参りますので、引き続きご愛読の程よろしくお願ひ致します。